

混合栓施工説明書

浄水器付きシャワー水栓

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上の注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者でお願い致します。

施工対象機種一覧



安全上のご注意

※この説明書はJA4シリーズを基本にして説明しています。

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

注意 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号 (○) 記号は、してはいけない
〔記号〕 内容を示しています。 (●) 記号は、必ず実行していただく
〔強制〕 内容を示しています。 (🚫) 記号は、触れてはいけない
〔接触禁止〕 内容を示しています。

警告

- 本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。
- 必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
- 修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
- この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

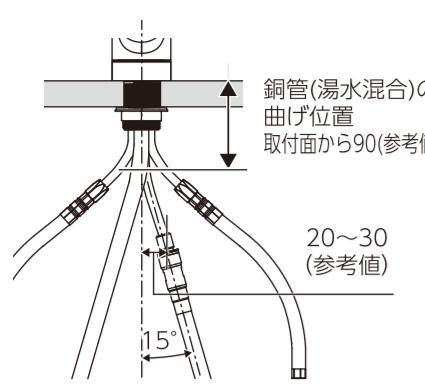


やけどや家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります

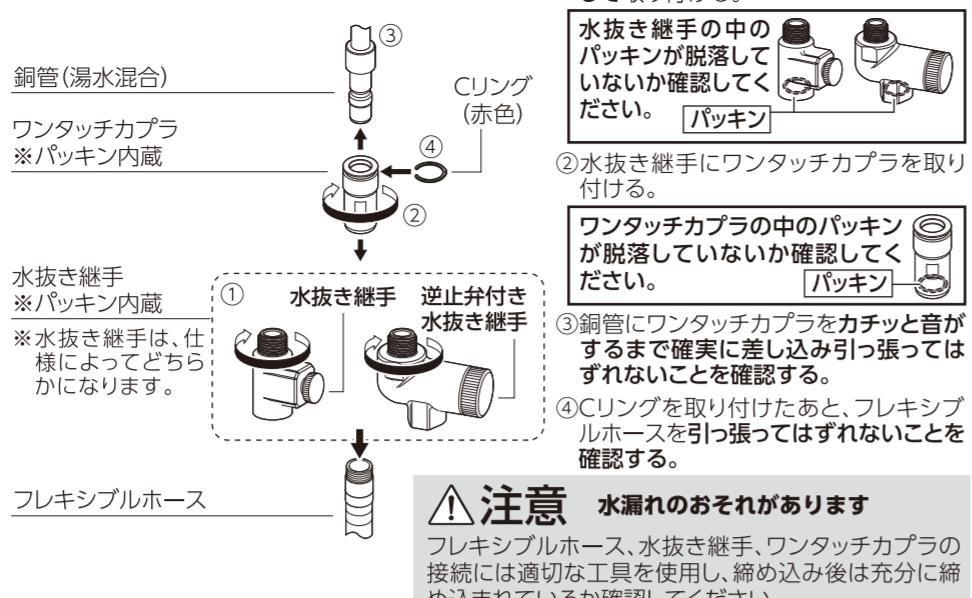
水抜き継手（または逆止弁付き水抜き継手）は水抜き以外の目的で開けないでください（寒冷地仕様のみ）。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

JA2シリーズは品質表示タグ（片面）のみ

②銅管(湯水混合)を正面からみて15°右に曲げます。



寒冷地仕様の場合



△注意 水漏れのおそれがあります

フレキシブルホース、水抜き継手、ワンタッチカプラの接続には適切な工具を使用し、締め込み後は充分に締め込まれているか確認してください。

1-7水道配管の止水栓を開ける

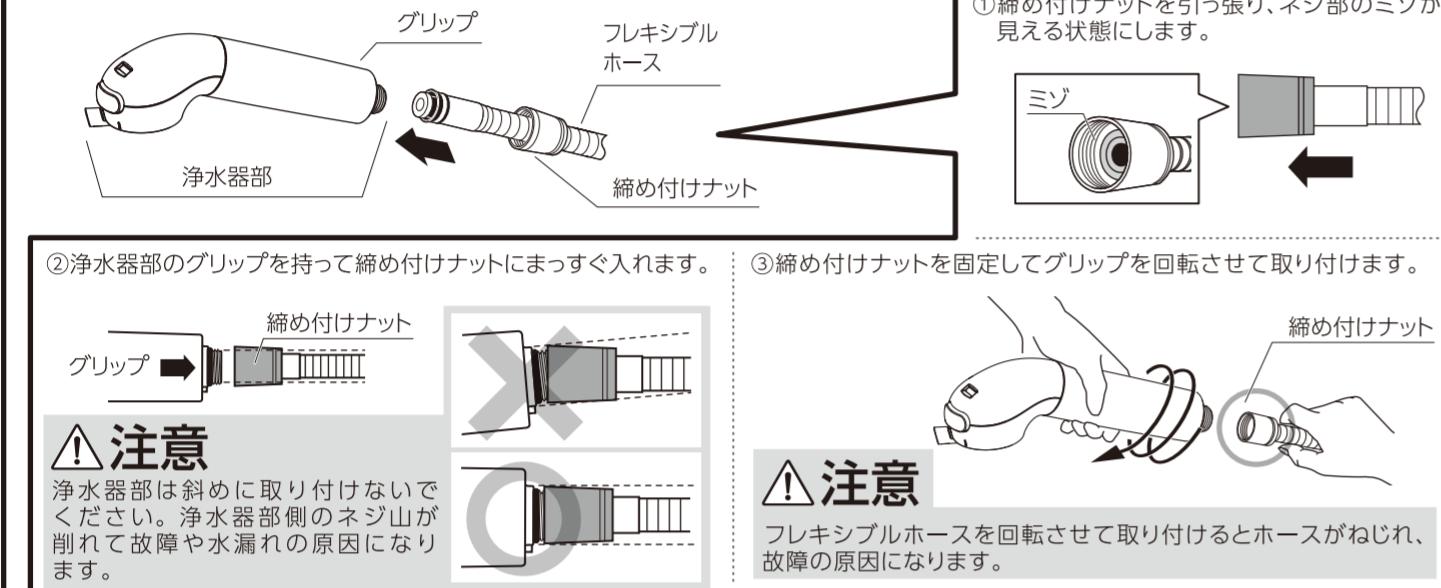
レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓(湯側・水側)を開けます。

1-8浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルを上げて左右に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。

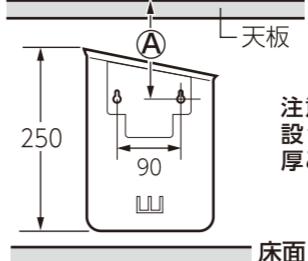


1-9浄水器部を取り付ける



1-10水受けボックスを設置する場合

<シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安>



注意: 設置位置(A)には天板の厚みが含まれています。

△注意

- 水漏れ事故防止のため、当社製水栓金具「みず工房」以外のものに取り付けないでください。
- 水栓本体のスパウトから水が多量に入った際には、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。
- フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないように、ホースストッパーの位置を調節してください。
- 変形するおそれがあります。40°C以上にならないような場所に設置してください。

設置位置一覧表

■JA4シリーズ/JA3シリーズ/JA3Xシリーズ

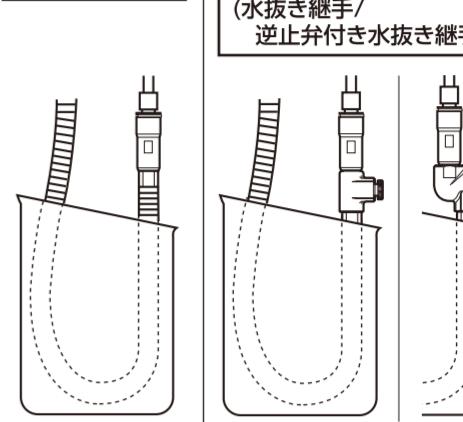
	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)	ホースストッパー位置(B)
通常仕様	1050mm 940mm	360mm 300mm	520mm 400mm
寒冷地仕様	1050mm 940mm	370mm 330mm	510mm 400mm
寒冷地仕様 逆止弁付き水抜き継手	1050mm 940mm	380mm 330mm	520mm 400mm

■JA3シリーズ(分岐付水栓)/JA4シリーズ(分岐付水栓)

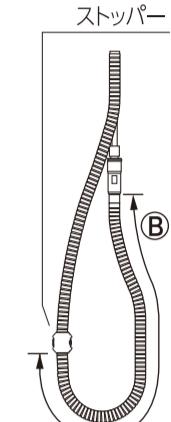
	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)	ホースストッパー位置(B)
通常仕様	1050mm 360mm	340mm 460mm	460mm 490mm

フレキシブルホースのセッティングの仕方

通常仕様の場合



ホースストッパー位置



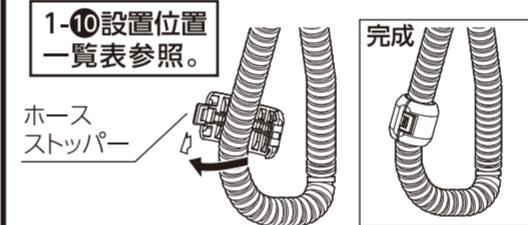
■JA2シリーズ

	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)	ホースストッパー位置(B)
通常仕様	1050mm 940mm	360mm 290mm	520mm 410mm
寒冷地仕様	1050mm 940mm	370mm 310mm	510mm 400mm
寒冷地仕様 逆止弁付き水抜き継手	1050mm 940mm	380mm 330mm	520mm 400mm



1-11ホースストッパーを取り付ける

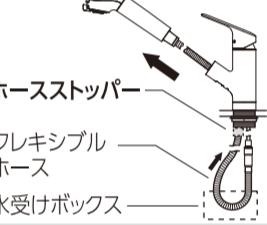
フレキシブルホースをはさみ込みます。



ホースストッパー位置は1-10の<シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安>を参照してください。

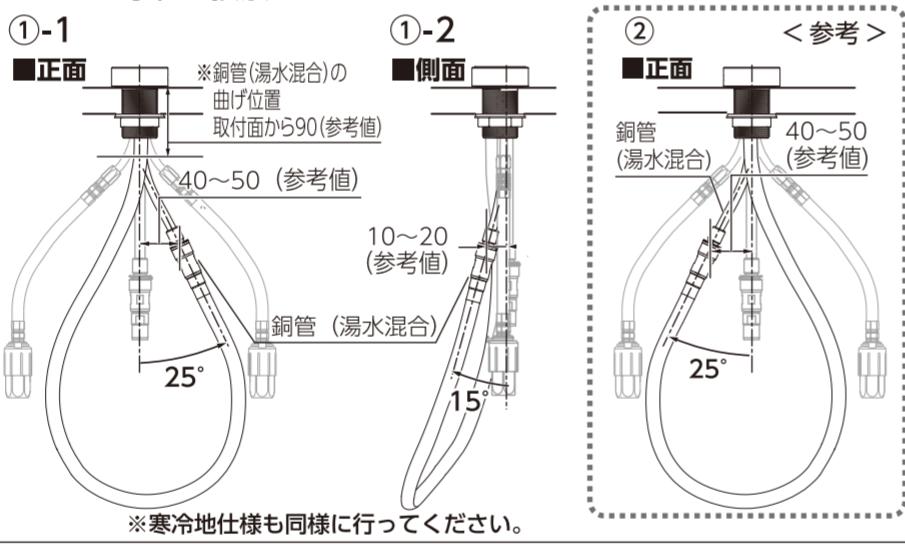
【取り付け上の注意】

浄水器部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。なお、水受けボックスをご使用の場合は、フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないようにホースストッパーの位置を調節してください。



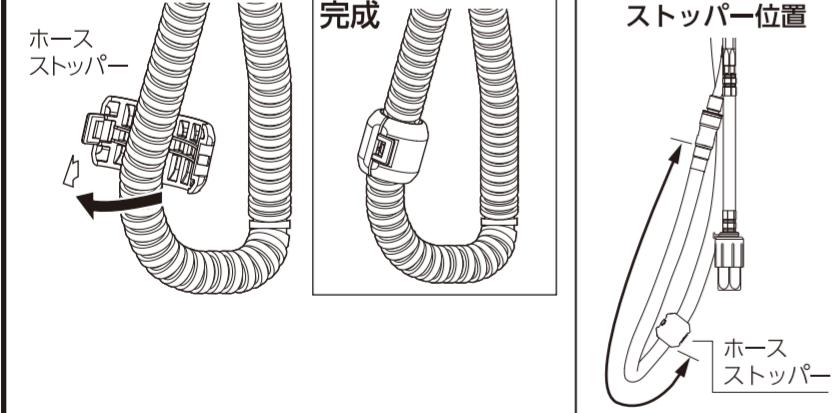
タンクレス仕様の施工の仕方

銅管(湯水混合)を曲げて、フレキシブルホースが止水栓に接触しないようにする



ホースストッパーを取り付ける

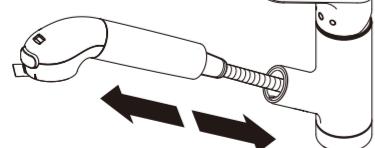
フレキシブルホースをはさみ込みます。



2.取り付けが終わったら

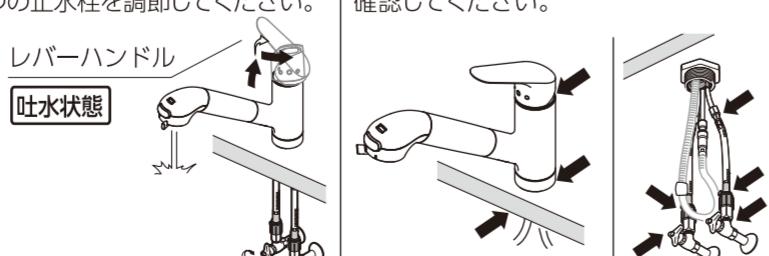
2-1引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。スムーズに出来ない場合は、フレキシブルホースが給水・給湯の銅管部や、水受けボックスに干渉している可能性があります。位置を調整してフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



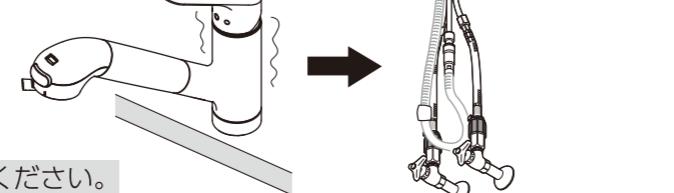
2-2止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



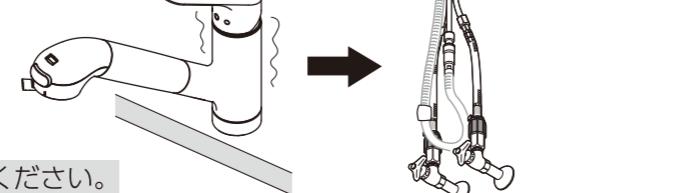
2-3各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、ネジ式カプラおよび水栓から水漏れがないことを確認してください。



2-4本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、蛇口取付ナットを回し、締め込んでください。



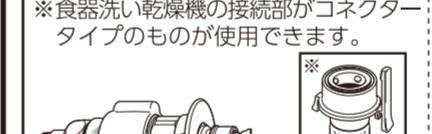
施工完了後、品質表示/節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。

3.食器洗い乾燥機とつなぐには(分岐付水栓の場合)

△注意 設定してください。

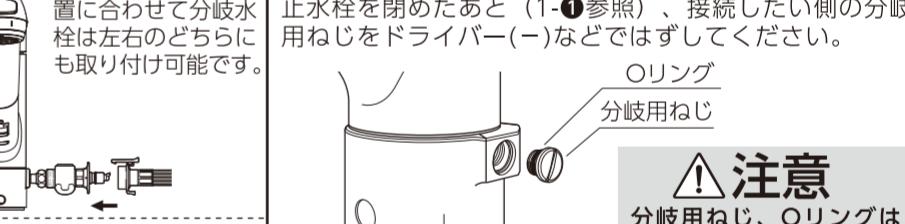
JH9007 パチット分岐水栓

※食器洗い乾燥機の接続部がコネクタータイプのものが使用できます。



3-1分岐用ねじをはずす

止水栓を開めたあと(1-1参照)、接続したい側の分岐用ねじをドライバー(ー)などではじしてください。



3-2キャップをはずす

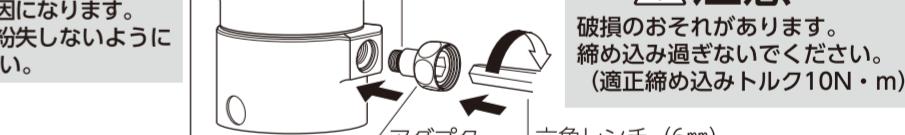
分岐水栓本体に付いているキャップをはずしてください。



△注意

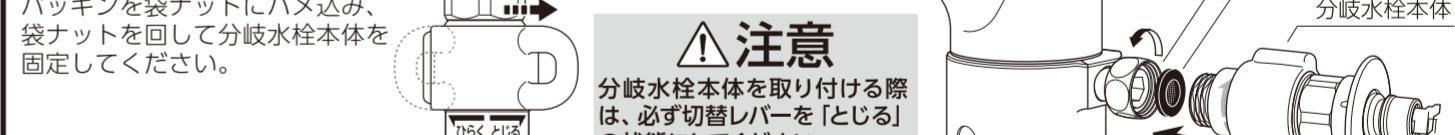
水漏れの原因になります。

パッキンを紛失しないようにしてください。



3-3アダプターを取り付ける

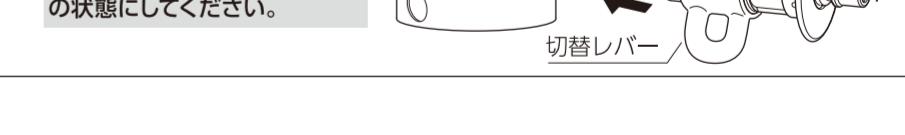
分岐水栓本体に付いているアダプターを取り付けてください。



△注意

破損のおそれがあります。

締め込み過ぎでください。

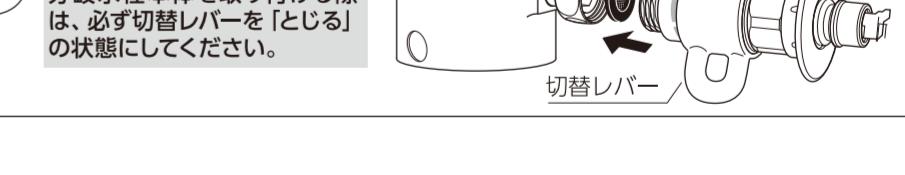


3-4分岐水栓本体を固定する

パッキンを袋ナットにハメ込み、袋ナットを回して分岐水栓本体を固定してください。

△注意

分岐水栓本体を取り付ける際は、必ず切替レバーを「とじる」の状態にしてください。



3-5取り付けがおわったら

止水栓を開けてください(1-7参照)。その後、水漏れないことを確認してください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。
ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

- 施工説明書などに基づかない施工・専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
- 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
- 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
- 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
- 水道に関する国基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる不具合。